

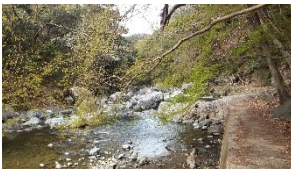
関西浦高会・通信

コロナ禍で中止していた春のイベントを3年ぶりに開催しました。摂津峡を芥川沿いに歩き、桜が満開の桜広場までのハイキング。高槻駅に戻り、京大農場跡地に広がる「安満遺跡公園」を散策し、レストランで遅い昼食を取りながら、久しぶりの対面での懇親を図りました。約2万3千歩強のウォーキングでした。

大阪・北摂の景勝地、摂津峡を歩く！



マス釣り場



夫婦岩



白滝



山口誓子の石碑



山水館



JR 高槻駅からバスに乗り芥川上流にある“上の口”バス停で下車、摂津峡に入る。河原にはマス釣り場があり、親子連れが釣り糸を垂れていた。溪流沿いに歩き“夫婦岩”、“白滝”など奇岩や滝などの渓谷美を楽しみました。コース途中には、渓谷美を読んだ山口誓子の句碑『流螢の自力で水を離れ飛ぶ』がひっそりと設置してありました。

渓谷の下流には、将棋の王将戦七番勝負の第2局の対局場所として2019年から使用されている山水館があります。鳥の声や清流の音に心癒され、森林浴をしながら摂津峡公園の南側にある桜広場に出ます。

明るい穏やかな春の日差しの下、約230本の満開の桜が目飛び込んできました。

桜広場で、お花見を楽しむ

満開を迎えた桜の木の周りには、花見を楽しむ多くの人々で賑わっていました。丘の上からは、眼下に高槻市内が見渡せ、はるか遠くには生駒の山並みを見ることができました。

その後、塚脇のバス停まで歩き、市バスでJR高槻駅に戻り、安満遺跡公園を訪ねました。



安満遺跡公園

安満遺跡は、三島平野の東部を流れる桧尾川が形成した扇状地に立地し、近畿地方でもいち早くコメ作りを始めた弥生時代の環濠集落跡です。



環濠

弥生時代の居住域だった環濠内には、旧京大付属農場のレトロな建物があり、レストランや展示室として利用されています。

隣接する展示館には、弥生時代の生活用具が復元展示されていました。

